



## 2025年2月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年10月7日

上場会社名 株式会社メディカルー光グループ 上場取引所 東  
コード番号 3353 URL <https://www.m-ikkou.co.jp/>  
代表者（役職名）代表取締役社長（氏名）南野 利久  
問合せ先責任者（役職名）常務取締役 財務・IR部長（氏名）遠山 邦彦（TEL）059（226）1193  
半期報告書提出予定日 2024年10月11日 配当支払開始予定日 2024年11月5日  
決算補足説明資料作成の有無 : 無  
決算説明会開催の有無 : 有（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

### 1. 2025年2月期第2四半期（中間期）の連結業績（2024年3月1日～2024年8月31日）

（1）連結経営成績（累計）（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年2月期中間期	22,665	29.9	828	37.4	853	22.4	709	59.7
2024年2月期中間期	17,450	2.8	603	29.5	696	16.4	444	18.7

（注）包括利益 2025年2月期中間期 638百万円（15.0%） 2024年2月期中間期 555百万円（57.6%）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2025年2月期中間期	188.75	—
2024年2月期中間期	118.26	—

（注）潜在株式調整後1株当たり中間純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年2月期中間期	33,115	14,394	41.6
2024年2月期	31,659	13,841	41.8

（参考）自己資本 2025年2月期中間期 13,775百万円 2024年2月期 13,240百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2024年2月期	円 銭 —	円 銭 20.00	円 銭 —	円 銭 25.00	円 銭 45.00
2025年2月期	—	25.00			
2025年2月期（予想）			—	25.00	50.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2025年2月期の連結業績予想（2024年3月1日～2025年2月28日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	46,260	15.9	1,800	15.4	1,800	2.7	1,210	16.4	321.78

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無
- (2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年2月期中間期	4,070,000株	2024年2月期	4,070,000株
② 期末自己株式数	2025年2月期中間期	308,273株	2024年2月期	311,873株
③ 期中平均株式数（中間期）	2025年2月期中間期	3,758,850株	2024年2月期中間期	3,757,296株

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P3「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 中間連結貸借対照表 .....	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 .....	6
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(セグメント情報等) .....	9

## 1. 当中間決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当中間連結会計期間(2024年3月1日~2024年8月31日)における我が国の経済は、物価上昇が続き個人消費の持ち直しに足踏みがみられたものの、企業収益は総じて改善基調にあり、各社の設備投資意欲も旺盛で、緩やかに回復しているとみられております。今後は、国内外の金融政策等が景気に及ぼす影響に注視していく必要があるものの、国内の物価高がやや落ち着くなか、実質賃金の改善もあり個人消費は持ち直し、国内景気は緩やかながらも回復が続くとみられております。

このような環境のもと、当社グループは足元の事業を取り巻く大きな環境変化に迅速に取り組むとともに、患者さま、利用者さまの安全確保にも引き続き注力し、事業活動の継続に努めてまいりました。

2024年4月に当社グループは、ヘルスケア事業において、東京都で介護事業を展開する共創未来メディカルケア株式会社の介護事業を当社の非連結子会社(孫会社)である株式会社メディカルー光が事業譲受けを実施することを決定しました。本件は、当社グループにおける初めての東京都内の介護事業案件となります。また、同年5月には調剤薬局事業において、当社連結子会社である株式会社メディカルー光が、京都府南部に調剤薬局を4店舗展開する株式会社京寿薬品の全株式を取得し、当社の連結子会社化(孫会社化)することを決定しました。更に株式会社メディカルー光は、医薬品卸事業においても同年7月に埼玉県、千葉県に営業基盤を有する株式会社佐藤薬品販売、および香川県、徳島県に営業基盤を有する株式会社若松薬品の全株式を取得することについて両社株主と基本合意を締結しました。

このように当中間連結会計期間において、当社グループは積極的なM&Aにより「調剤薬局事業」「ヘルスケア事業」「医薬品卸事業」の主力3事業における事業規模拡大を進め、グループ全体で一層強固な体制を構築すべく着実に布石を打ってまいりました。なお、グループ全体の拠点網は、当中間期末において、東京都を含む1都1道2府20県の地域に拡大しております。

この結果、当中間連結会計期間の当社グループの業績は、売上高22,665百万円(前年同期比29.9%増)、営業利益828百万円(前年同期比37.4%増)、経常利益853百万円(前年同期比22.4%増)、親会社株主に帰属する中間純利益は709百万円(前年同期比59.7%増)となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

#### (調剤薬局事業)

調剤薬局事業におきましては、当中間連結会計期間の既存店舗の処方箋応需枚数は前年同期比減少しました。前年同期は5月に新型コロナウイルス感染症が5類感染症へ移行した影響もあり、受診抑制の緩和が進み処方箋枚数の増加に繋がったことが背景にあります。一方、2024年6月より株式会社京寿薬品の連結子会社化が事業部門全体の売上高に寄与しております。しかしながら、薬価改定の影響等もあり収益貢献はこれからの状況となっております。

この結果、売上高11,911百万円(前年同期比0.4%増)、営業利益551百万円(前年同期比19.9%減)となりました。なお、当中間期末における当社グループの調剤薬局は合計97店舗となっております。

#### (ヘルスケア事業)

ヘルスケア事業におきましては、居住系介護サービスおよび在宅系介護サービスともに、入居率や稼働率は前年同期比やや低下しました。そのような状況の中、経費節減に取り組みながらも、施設運営に不可欠な人材の確保には注力し、施設利用者が快適に過ごせる介護サービスの実現に努めてまいりました。また、2024年7月には株式会社メディカルー光による事業譲受けが事業部門全体の売上高に寄与しておりますが、調剤薬局事業のM&Aと同様、収益への貢献はこれからの状況となっております。

この結果、売上高3,962百万円(前年同期比1.6%増)、営業利益127百万円(前年同期比15.3%増)となりました。なお、当中間期末における当社グループの居住系介護サービスは、合計43施設(居室数1,435室)、在宅系介護サービスにおいては、通所介護事業所26ヶ所、居宅介護支援事業所16ヶ所、小規模多機能ホーム11施設、福祉用具レンタル・販売5拠点、訪問介護事業所8ヶ所、訪問看護事業所3ヶ所、ショートステイ1施設と、幅広く介護サービスを提供しております。

#### (医薬品卸事業)

医薬品卸事業におきましては、前年4月からの急激な原価率の上昇により収益環境は一層厳しさを増しております。2023年9月に実施しました当社中核子会社である株式会社メディカルー光と西部沢井薬品株式会社との事業統合の効果を発揮すべく、組織体制の見直しと販売力の強化に注力してまいりました。

この結果、売上高6,701百万円(前年同期比319.2%増)、営業利益194百万円(前年同期比473.4%増)となりました。(内部売上を含む売上高は7,099百万円となり、前年同期比で243.3%増加しました。)

## (不動産事業)

不動産事業におきましては、賃貸不動産からの収入によって、売上高90百万円(前年同期比0.4%減)、営業利益65百万円(前年同期比1.0%減)となりました。

また、投資事業におきましては、投資有価証券売却益102百万円を計上しております。

なお、セグメント間の内部売上高として401百万円を消去するとともに、全社における共通経費として110百万円を計上しております。

## (2) 財政状態に関する説明

## ① 資産、負債及び純資産の状況

当中間連結会計期間末における総資産は33,115百万円となり、前連結会計年度末と比較して1,456百万円増加いたしました。

流動資産の合計は17,843百万円となり、前連結会計年度末と比較して1,121百万円増加いたしました。これは主に、売掛金が609百万円、現金及び預金が490百万円増加したこと等によるものです。固定資産の合計は15,271百万円となり、前連結会計年度末と比較して334百万円増加いたしました。これは主に、有形固定資産のその他(純額)が355百万円、のれんが184百万円それぞれ増加したものの、建物及び構築物(純額)が105百万円、投資その他の資産のその他が85百万円それぞれ減少したこと等によるものです。

負債合計は18,721百万円となり、前連結会計年度末と比較して902百万円増加いたしました。これは主に、流動負債のその他が686百万円、買掛金が343百万円それぞれ増加し、長期借入金(1年内返済予定を含む)及び短期借入金が226百万円減少したこと等によるものです。

純資産合計は14,394百万円となり、前連結会計年度末と比較して553百万円増加いたしました。これは主に、利益剰余金が614百万円増加し、その他有価証券評価差額金が89百万円減少したこと等によるものです。

## ② キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間末における現金及び現金同現物(以下、「資金」という。)は、前連結会計年度末と比較して486百万円増加し8,075百万円となりました。これは、営業活動によるキャッシュ・フローで1,501百万円増加したこと、投資活動によるキャッシュ・フローで675百万円減少したこと、財務活動によるキャッシュ・フローで354百万円減少したことによるものです。

当中間連結会計期間における、各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、1,501百万円(前年同期比654百万円の増加)となりました。これは主に、税金等調整前中間純利益1,136百万円、減価償却費及びのれん償却額351百万円、未払費用の増加225百万円があったものの、法人税等の支払343百万円があったこと等によるものです。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果支出した資金は、675百万円(前年同期比337百万円の支出増加)となりました。これは主に、投資有価証券の売却による収入470百万円、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入153百万円があったものの、貸付による支出500百万円、有形固定資産の取得による支出465百万円、投資有価証券の取得による支出455百万円があったこと等によるものです。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果支出した資金は、354百万円(前年同期比137百万円の支出増加)となりました。これは主に、短期借入金及び長期借入金246百万円の純減少、配当金の支払93百万円があったこと等によるものです。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年2月期の業績予想につきましては、2024年4月5日公表の数値から変更はありません。当中間連結会計期間に公表しましたM&A等が業績に与える影響を含め、今後、業績予想の修正が必要と判断した際には、速やかに開示いたします。

## 2. 中間連結財務諸表及び主な注記

## (1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年2月29日)	当中間連結会計期間 (2024年8月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	7,700,231	8,191,090
受取手形	10,959	9,534
売掛金	6,049,119	6,658,816
商品	1,752,891	1,789,025
その他	1,212,036	1,201,774
貸倒引当金	△2,488	△6,307
流動資産合計	16,722,750	17,843,933
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	5,142,822	5,037,550
土地	3,576,751	3,601,857
その他(純額)	396,990	752,218
有形固定資産合計	9,116,563	9,391,626
無形固定資産		
のれん	692,838	877,435
その他	167,456	173,554
無形固定資産合計	860,294	1,050,989
投資その他の資産		
投資有価証券	2,097,193	2,036,948
関係会社株式	10,000	-
敷金及び保証金	1,222,452	1,247,391
その他	1,630,236	1,544,719
投資その他の資産合計	4,959,882	4,829,059
固定資産合計	14,936,740	15,271,676
資産合計	31,659,490	33,115,610
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形	125,890	52,402
買掛金	4,772,001	5,115,287
電子記録債務	333,540	416,964
短期借入金	1,345,000	1,130,000
1年内返済予定の長期借入金	2,349,864	2,334,484
未払法人税等	380,593	435,870
賞与引当金	276,259	284,840
その他	820,856	1,507,528
流動負債合計	10,404,006	11,277,379
固定負債		
長期借入金	5,717,480	5,721,229
リース債務	166,606	177,119
退職給付に係る負債	1,016,554	1,073,135
その他	513,653	472,255
固定負債合計	7,414,294	7,443,740
負債合計	17,818,300	18,721,119

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2024年2月29日)	当中間連結会計期間 (2024年8月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	917,000	917,000
資本剰余金	1,081,749	1,085,044
利益剰余金	11,447,448	12,062,155
自己株式	△537,933	△531,724
株主資本合計	12,908,264	13,532,475
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	332,990	243,501
退職給付に係る調整累計額	△406	△203
その他の包括利益累計額合計	332,584	243,298
非支配株主持分	600,341	618,716
純資産合計	13,841,190	14,394,490
負債純資産合計	31,659,490	33,115,610

## (2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

## 中間連結損益計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年8月31日)	当中間連結会計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年8月31日)
売上高	17,450,480	22,665,446
売上原価	15,712,273	19,928,084
売上総利益	1,738,206	2,737,361
販売費及び一般管理費	1,135,152	1,909,045
営業利益	603,054	828,316
営業外収益		
受取利息	705	2,282
受取配当金	24,851	34,986
助成金収入	77,796	19,157
その他	21,435	22,345
営業外収益合計	124,789	78,772
営業外費用		
支払利息	24,382	26,972
売買有価証券運用損	-	7,144
その他	6,802	19,952
営業外費用合計	31,184	54,069
経常利益	696,659	853,019
特別利益		
固定資産売却益	-	76,811
投資有価証券売却益	80,857	102,748
補助金収入	2,480	-
受取和解金	-	110,000
特別利益合計	83,337	289,560
特別損失		
固定資産除却損	1,704	1,406
固定資産圧縮損	2,480	-
投資有価証券売却損	-	808
賃貸借契約解約損	-	3,766
特別損失合計	4,184	5,982
税金等調整前中間純利益	775,812	1,136,597
法人税、住民税及び事業税	321,491	410,883
法人税等調整額	△14,902	△2,198
法人税等合計	306,588	408,684
中間純利益	469,223	727,912
非支配株主に帰属する中間純利益	24,854	18,408
親会社株主に帰属する中間純利益	444,369	709,504



## 中間連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年8月31日)	当中間連結会計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年8月31日)
中間純利益	469,223	727,912
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	88,503	△89,522
退職給付に係る調整額	△2,534	203
その他の包括利益合計	85,969	△89,319
中間包括利益	555,192	638,593
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	530,295	620,218
非支配株主に係る中間包括利益	24,897	18,375

## (3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年8月31日)	当中間連結会計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年8月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前中間純利益	775,812	1,136,597
減価償却費	298,797	295,604
のれん償却額	97,512	56,144
賞与引当金の増減額(△は減少)	29,018	△7,973
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	17,878	29,469
受取利息及び受取配当金	△25,557	△37,268
支払利息	24,382	26,972
投資有価証券売却損益(△は益)	△80,857	△101,939
固定資産売却損益(△は益)	-	△76,811
固定資産除却損	1,704	1,406
売上債権の増減額(△は増加)	△390,384	△76,097
棚卸資産の増減額(△は増加)	△70,388	38,998
仕入債務の増減額(△は減少)	315,475	74,211
未払費用の増減額(△は減少)	53,872	225,778
その他	33,855	251,949
小計	1,081,122	1,837,043
利息及び配当金の受取額	24,884	35,523
利息の支払額	△24,533	△27,011
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△233,923	△343,988
営業活動によるキャッシュ・フロー	847,550	1,501,567
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△154,156	△465,027
有形固定資産の売却による収入	-	2,255
無形固定資産の取得による支出	△5,013	△22,651
投資有価証券の取得による支出	△405,326	△455,290
投資有価証券の売却による収入	422,748	470,380
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	-	153,474
貸付けによる支出	-	△500,000
敷金及び保証金の差入による支出	△3,084	△16,951
敷金及び保証金の回収による収入	11,193	34,399
その他	△204,516	124,007
投資活動によるキャッシュ・フロー	△338,155	△675,404
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	20,000	△215,000
長期借入れによる収入	1,350,000	1,200,000
長期借入金の返済による支出	△1,495,993	△1,231,970
リース債務の返済による支出	△16,252	△13,561
配当金の支払額	△75,140	△93,953
財務活動によるキャッシュ・フロー	△217,387	△354,484
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	292,008	471,677
現金及び現金同等物の期首残高	6,253,102	7,589,368
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	-	14,380
現金及び現金同等物の中間期末残高	6,545,111	8,075,427

## (4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前中間連結会計期間(自 2023年3月1日 至 2023年8月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	中間連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	調剤薬局 事業	ヘルスケア 事業	医薬品卸 事業	不動産事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	11,861,141	3,899,552	1,598,645	91,141	17,450,480	—	17,450,480
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	300	469,627	2,327	472,254	△472,254	—
計	11,861,141	3,899,852	2,068,272	93,468	17,922,735	△472,254	17,450,480
セグメント利益	688,191	110,740	33,863	66,084	898,880	△295,826	603,054

(注) 1 セグメント利益の調整額△295,826千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用665,254千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## II 当中間連結会計期間(自 2024年3月1日 至 2024年8月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	中間連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	調剤薬局 事業	ヘルスケア 事業	医薬品卸 事業	不動産事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	11,911,592	3,962,013	6,701,052	90,787	22,665,446	—	22,665,446
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	300	398,765	2,327	401,393	△401,393	—
計	11,911,592	3,962,313	7,099,818	93,115	23,066,839	△401,393	22,665,446
セグメント利益	551,175	127,634	194,184	65,425	938,420	△110,104	828,316

(注) 1 セグメント利益の調整額△110,104千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用570,504千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。